

研究テーマ

- 将来チーム医療での生涯学習を行うための基礎となる多学部学生混在の小グループ学習 (Small group learning; SGL) の教育効果について

デザイン

- 単施設ランダム化非マスク比較試験

研究対象、施設、人数

- 群の構成
 - A群: 医学生6名のみで構成される小グループ
 - B群: 医学生2名, 看護学生2名, 薬学生2名で構成される小グループ
- 参加者のエントリー
 - 医学生20名, 看護学生8名, 薬学生8名
- 参加者の割付け
 - 割付け割合は1:2(A群:2グループ, B群4グループ)とする.
- 介入方法
 - 勉強会は1グループ6名のSGLとして, 1回3時間, 計3回とする.
 - PBL方式とは違い, 学生が症例についての情報を主体的に求める
 - strategic inquiry方式を採用し, 臨床判断のアルゴリズムを構築することを目的とする.

第1回: オリエンテーション, EBMの5つのstep, 疑問の定式化, 情報収集

第2回: 治療のカテゴリのランダム化比較試験を用いた批判的吟味

第3回: 患者への適応, エビデンスの利用の仕方

評価項目、評価法

- 評価時期
 - ベースライン
 - 第3回の勉強会終了後(2週後)
 - 3ヶ月後
- 評価項目
 - **臨床判断**
 - 学習視野の拡がり
 - 学習意欲の向上
 - グループ内での態度の変化

データと解析の種類

- 臨床判断
 - VAS scale : t検定
 - 判断理由 : フラグメント解析

解析の方向性

- **臨床判断**
 - VAS scale: t 検定
 - 判断理由: フラグメント解析(キーワード数を比較)
- 学習視野の拡がり
 - 情報カードの数: t 検定(重み付けも?)
- 学習意欲の向上(自己、fascillitator)
 - 評価表:ノンパラメトリック(?)
- グループ内での態度の変化(自己、学生同士、fascillitator)
 - 評価表:ノンパラメトリック(?)

意欲の向上(評価表、5段階)

【共通】

- 議論に積極的に参加できましたか？
- 問題点を明らかにできましたか？
- 論文に対して批判的吟味ができましたか？

【学生のみ】

- 論文の結果を患者さんに応用しますか？
- 今後もSGLを行いたいですか？
- 今回学んだ方法を今後も活用したいですか？

態度の変化(評価表、5段階)

【共通】

- 議論に積極的に参加できましたか？
- グループの一員としての役割を果たせましたか？
- グループ内の円滑な議論に関与しましたか？
- 他人の意思を無視せず議論ができましたか？

臨床実習の評価に影響を及ぼす 入試以前の要因の検討

- 臨床実習の評価は平均化する
 - 平均(68)、SD(8.7)
- 相関度が高いデータ: 高校時代の欠席日数、1次試験の順位、出身校が特殊進学校
 - 単変量解析: $p=.00$ 、.039、.016
 - 高校時代の欠席日数(t検定): $p=0.005$
 - 平均(11.5)、SD(13.8) → cut off 38日で
 - 出身校が特殊進学校(t検定): $p=0.016$
 - 1次試験の順位: ?
 - 多変量解析: $p=.00$ 、.029、.309

入試成績が臨床実習の評価に 如何に影響を及ぼすか？

- 臨床実習の評価は平均化する
 - 平均(68)、SD(8.7)
- 相関度が高いデータ: 高校時代の欠席日数、1次試験の順位、出身校が特殊進学校
 - 多変量解析: .00、.029、.309
- 高校時代の欠席日数(t検定): $p=0.005$
 - 平均(11.5)、SD(13.8) → cut off 38日で
- 1次試験の順位
- 出身校が特殊進学校(t検定): $p=0.016$